

議 会 だ よ り

# 筑紫野

今回の定例会



5/1  
2023  
No.200

10万市民に議会を

聴く 見る 動く チーム議会



## 目次

- 3月定例会委員会報告 . . . 2
- 委員会年間テーマ報告 . . . 5
- 意見書提出 . . . . . 6
- 一般質問 . . . . . 8



福岡県筑紫野市議会



令和4年度筑紫野市一般会計

補正予算(第10号)

## 基金積立と小中学校教育活動

### 体制整備に係る補正



#### 概要

一般会計の予算に、歳入歳出それぞれ15億9014万1千円を追加し、総額を388億7776万7千円とするものです。

※万円単位

事業名	事業概要	予算額
基金積立事業	財源不足に備えるため財政調整基金へ	11億5905万円
	公共施設等整備基金へ	9億2831万円
子どもの安心・安全対策支援事業	保育所や認定こども園の送迎用バスへの置き去りを防止する安全装置の導入支援	122万円
児童生徒通学支援事業	天山スクールバスに置き去りを防止する安全装置を設置	15万円
感染症流行下における小学校教育活動体制整備事業	新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するために必要な消毒液や石けんなどの物品を購入	960万円
		540万円



**委員会での質疑** 子どもの置き去り防止のため、どのような安全装置が導入されるのか。

**議員** 国が示したガイドラインに適合する装置を導入していくことになるが、具体的には、国が公表している安全装置のリストから、園が選定していくことになる。

**執行部** 国が示したガイドラインに適合する装置を導入していくことになるが、具体的には、国が公表している安全装置のリストから、園が選定していくことになる。

令和5年度筑紫野市一般会計暫定予算

170億9500万円の

### 暫定予算



#### 概要

令和5年度一般会計予算は、統一地方選挙を控えているため、暫定予算としており、基本的に4月から7月までの4ヶ月間に必要な予算を計上しています。市民生活の安全安心に関わるもの、早期の対応が必要なものは年間所要額を計上しています。

本件の主な内容は、コミュニティバス等運行事業、地域公共交通計画策定事業、筑紫野市総合計画策定事業、新型コロナウイルススワクチン接種事業、産後ケア事業などであり、歳入歳出予算の総額をそれぞれ170億9500万円とするものです。今回の暫定予算は、

**暫定予算とは？**

通常、予算は年間予算として編成されますが、本予算が成立するまでの一定期間（4月～7月）の予算を暫定的に計上するものです。

**議員** 前年度当初予算と比較すると約52%となっています。

**議員** 公共施設の電気料について、どのように計上しているのか。

**執行部** エネルギー価格が高騰しており、前年比で約1億5000万円増額になると見込んでいるが、暫定予算には、7月までの支出見込額を計上している。

所管事務調査

## 福祉避難所は…

### 調査の目的

災害時、障がいを持つている方、介護が必要な方にとって、どこに、どう避難するかは大きな問題である。災害時に設置される「福祉避難所」に関し周知と運営の現状を把握するため。

### 危機管理課の説明

福祉避難所は避難情報の発令に伴い開設する。現在、カミリーヤと協定締結による指定避難所（市の要請に基づき開設して頂く）として、福岡高等視覚特別支援学校と、福岡視覚特別支援学校があり、テントやベッド、仕切り、車いす、バッテリー等を必要機材として備蓄している。

### 委員会での質疑

**議員** カミリーヤで対応できる人数、福祉避難所としての周知方法は。

**執行部** 感染症対策により、現時点

より、現時点

で101人の収容が可能。出前講座、ホームページでお知らせし、ハザードマップにも記載している。

**議員** 福祉避難所と運営方法の訓練はしているのか。

**執行部** 福祉避難所に限定した訓練はしていない。介護が必要な方、障がいを持つている方など、必要であれば専門家の派遣を要請する。

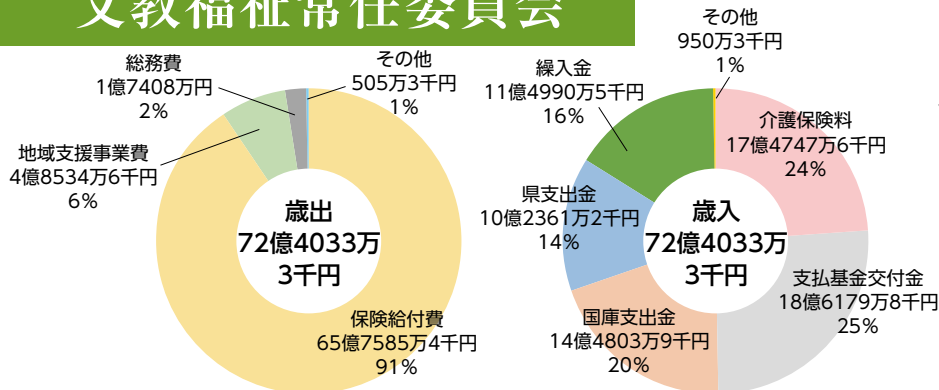
**議員** 福祉避難所の要援護者支援制度に登録している方、支援者等に特化して周知してきたか。

**執行部** 今後、福祉避難所としての機能、位置づけ、場所等についての周知を拡充する必要があると認識している。

### まとめ

カミリーヤ（福祉避難所）利用についてのマニュアルがあると良い。検討事項の実行は計画化し報告を頂きたい。

# 文教福祉常任委員会



## 令和5年度介護保険事業特別会計予算



### 概要

歳入歳出合計は、72億4033万3千円で、前年度より2億2160万1千円増加しています。

歳入の主な内訳は、65歳以上の介護保険料と、40歳から64歳までの介護保険料（支払基金交付金）が約50%で、残りの約50%が国・県・市の公費によってまかっています。

歳出の主な内訳は、保険給付費が約91%で、高齢者人口、介護認定者とともに年々増加傾向です。

### 委員会での質疑

### 議員 備基金積立金

この4万円は少額では、この基金の活用と積立残高は。

### 執行部

この基金を運用した場合の利益や預金の利子などを想定し、4万円を計上している。

現在、基金の一部取り崩すことで保険料を減額しており、次期計画においても同様に検討する。基金は約5億2000万円ある。

## 所管事務報告

### 新生児聴覚検査の費用を助成

#### 概要

赤ちゃんの先天性異常（聴覚異常）を早期に発見し、早期の療育開始につなげ、その後の音声言語発達等への影響を最小限にします。

事業開始	令和5年4月1日
内容	出産した病院等で行われる「新生児聴覚検査」受検費用を助成する
対象検査	初回検査および初回検査で要再検となった場合の確認検査までを対象とする ※確認検査で要再検となった場合の精密検査は対象外(医療保険対応)
検査種別(上限金額)	①自動聴性脳幹反応(ABRもしくはAABR)の場合、5000円 ②耳音響反射(OAE)の場合、3000円
対象	生後0日から生後90日までの新生児および乳児 960名
周知	①母子健康手帳交付時に個別に助成券を配布しながら周知 ②産科医療機関等へ周知③ホームページ、SNS等で広く一般に周知

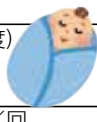


### 産後ケア事業(アウトリーチ型)

#### 概要

出産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母親を含む養育者がセルフケア能力を育み、親子の愛着形成を促し、その家庭で健やかな育児ができるよう支援します。

事業開始	令和5年4月1日
対象	①出産後1年を経過しない母子で、産後の心身の回復や育児への不安等があり、支援を必要とするもの ②里親を含む養育者も対象とする
提供者	福岡県助産師会に所属する助産師
提供概要	家庭訪問により、次のサービスを提供する(1回の出産につき、2回を限度) ○身体的ケア及び保健指導、栄養指導 ○乳房ケアを含む、授乳に関するケア ○心理的ケア ○育児の手法について具体的な指導及び相談
利用者負担	①市民税課税世帯 1000円/回 ②市民税非課税世帯 0円/回
周知	①母子健康手帳交付面談時に個別周知 ②乳児健診案内(個別通知)にチラシを同封し周知 ③産科医療機関等へ周知 ④ホームページ、SNS、広報ちくしの



### 送迎バスに安全装置を導入

#### 概要

子どもの安心・安全対策支援事業として、保育所や認定こども園の送迎バスへの置き去り防止の導入を支援します。

対象施設	私立保育所、認定こども園
補助内容	送迎用バスへの置き去り防止のためのブザー設置等に必要な経費
補助額	1台につき175,000円(補助基準額)
設置する時期	できるだけ早い設置を目指す
補助割合	国10/10

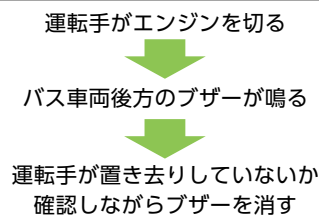


### 通学バスに安全装置を導入

#### 概要

阿志岐小学校への通学バスとして運行している天山スクールバスに安全装置を装備します。

#### 安全装置の作動イメージ



安全装置(イメージ)



令和5年度筑紫野市上下水道事業会計予算

## 令和5年度の利用者数と収支の見通し



### 概要

令和5年度水道事業の業務活動に関する収入予定額は20億9754万円、支出予定額は19億4461万円。税込み1億5300万円の黒字を見込んでいます。

減の見込みを具体的に伺いたい。

### 執行部

コロナ感染拡大による巣籠り現象以前の令和元年度は給水収益が約17億5000万円で、その後増加が継続し、特に令和4年度は約5000万円増となった。そこで、コロナ前の令和元年度を基に上昇を見込んでいる。

### 議員

上水道は800人の増だが、下水道は400人増の差の理由は。

### 執行部

伸び率は上水道・下水道別々に計算したので、400の差が出ている。今後調整しながら両方が合うような形の見込みを出していきたい。

### 委員会での質疑

#### 議員

給水人口800人増に対する、巣籠りによる収入



		令和5年度	令和4年度
上水道	給水人口	90,200人	89,400人
	年間総給水量	8,209,000㎡	8,225,000㎡
下水道	排水人口	99,500人	99,100人
	年間総排水量	8,666,200㎡	8,981,300㎡

所管事務報告

## 水質調査等の結果について (平等寺地区)

### 経緯

平等寺地区にある「柳産興」の産業廃棄物処分場で平成11年10月、硫化水素ガスが発生し、作業員三人の死亡事故が発生した。事故発生後、市議会は特別委員会を設置し、福岡県に対し要望活動などを行ってきた。現在は、常任委員会で、受託廃棄物の搬出状況や周辺の水質について、市民の安全を第一に調査や研究を行っている。

### 概要

市の水質調査では、地図①で、全マンガン及びウランが令和4年12月において、要監視項目の指針値を超える結果となっています。一般的にマンガンは土壌中に多く含まれ、処分場の内部が嫌氣的（酸素が少ない）であるなどの条件により、浸透水から検出されることがあります。

令和4年1月から12月までの1年間における受託廃棄物の搬出状況は、混合廃棄物は1211トンであり、廃石膏、廃油、汚泥残量に動きはありません。残量は、令和4年12月現在で、廃塗料約30トン、混合廃棄物約300トン、汚泥約450

トン、廃石膏約50トン、合計約830トンです。



水質調査箇所図

内容	時期	箇所
処分場直下水質調査	毎月	①②⑤ ⑦⑧⑨
処分場直周水質調査	5、2月	①②③ ④⑤⑥

# 委員会年間テーマ報告

各常任委員会が定めた年間テーマについて、調査・研究を行った結果をご報告します。

## 総務市民常任委員会

### 防災全般について

○令和3年8月11日の大雨時の避難所運営について調査

避難指示が発令される大雨だった。避難所開設し8時間3交代運営。避難所の視察を行い、簡易ベッドや、感染対策の状況の確認を行った。

○避難所の飲料水や生活用水の確保の調査  
 備蓄として約2千リットル。給水排水タンク等1万3千リットル分整備。その他、協定も結び調達可能。今後、井戸水の活用も検討するように提言。

○避難所に関する協定  
 地域防災協定5箇所。民間施設は結んでいない。各行政区が結んでいる状況は市の方で把握するように提言。

## 文教福祉常任委員会

### 待機児童とICT教育について

#### 待機児童数(申込数)

●令和3年4月1日  
137人(2411人)  
●令和4年4月1日  
31人(2433人)

#### ◆解消に向けた取り組み(令和3年度)

- ①企業主導型保育施設3園開設50人(案内)
- ②保育士確保に向けて家賃補助を開始
- ③私立幼稚園1園で2歳児12人定員
- ④原田保育園増築30人増
- ⑤いきいき保育園新設定員150人(令和5年4月)
- ⑥小規模保育施設2園開設38人

#### ■受け皿確保280人分増加

申込数は令和2年と比較し令和5年4月の希望者は223人増加。  
 ※更なる受け皿確保・対策が必要と考える。

#### ICT教育

●令和3年度、コロナ禍や不登校児童生徒の学びの確保に向けオンライン授業実施・ICT支援員の必要性・ICT活用計画や実施計画の必要性を議論提案！

●令和4年3月筑紫野市小中学校ICT活用推進計画策定！

●令和4年6月に令和4年度筑紫野市GIGAスクール実施計画を策定！ICT支援員は2名の予算計上だがICT担当指導主事1名のみ。ココが課題！

●令和5年3月末校内ネットワーク強化完了。  
 ※不登校児童生徒の学びを確保するためのオンライン授業は、新年度に向け重点を置いて取り組んでいくことを改めて周知したいとの答弁あり。

## 建設環境常任委員会

### 災害対応と環境保全について

地球温暖化による気候変動が地球全体を覆っている。私たちの生活も例外ではなく、環境改善に向けた委員会活動を行うために、年間テーマとした。  
 気候変動による、将来予測は左の図のような影響が考えられる。これらに対する気候変動対策として、原因を減らす「緩和」と影響に備える「適応」を進める必要がある。「緩和」は、節電や省エネ、再生可能エネルギーの活用、森林を増やす等。「適応」は、災害に備える、高温でも育つ農作物の開発と栽培、感染予防のため等に一人一人の努力で対応していく必要がある。

21世紀末の日本は、20世紀末と比べ...

年平均気温が約1.4°C高くなり、海面水温が約1.14°C高くなる。

降雪・積雪の減少  
 雪は減るが、大雨の頻度は増える。

大雨・豪雨の増加  
 大雨の頻度は増える。

台風の発生回数の増加  
 台風の発生回数は増える。

※文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2020」より引用



# 2件の請願を採択・意見書を可決

## 国道3号バイパストンネルの 道路整備等を求める意見書

### 概要

国道3号バイパストンネルは、地域の方々の生活道路や商業施設利用者の迂回路として、また、近隣の学校への通学路として登下校時には多くの児童や生徒に利用されていますが、交通量が多いにもかかわらず、道路幅員や歩道幅員が狭く、以前から危険性が指摘されています。更に、緊急自動車等の通行に対し、迅速な人命救助や火災対応などに支障をきたす恐れも指摘されています。こうした観点から、不幸な事故を未然に防ぐために地方自治体が計画的に道路の整備を進めることができるよう、国に要請する意見書を可決しました。



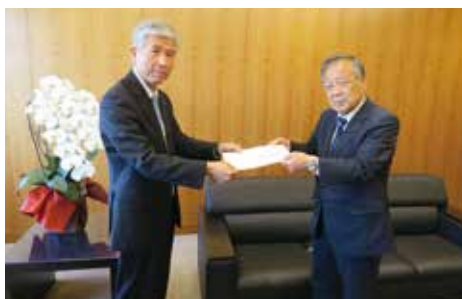
## 地域経済活性化施策の 充実・強化を求める意見書

### 概要

昨今、長引くコロナ禍により、日本経済は依然として厳しさが続き、世界情勢の変化による物価高騰など、私たち市民生活への大きな影響を及ぼしています。

そのなか、地域経済の活性化を図る視点が本市にとって重要であり、地場産業や地域経済の隅々にまで及ぶよう、地域経済の活性化に資する諸施策を充実・強化することが求められています。

このような厳しさを打開するため、地場産業関連予算の増額を図りながら創業促進と新分野への進出支援などの施策を推進していく必要があることから、地域経済活性化施策の充実・強化に努めることを強く要望する意見書を市に提出しました。



### 「意見書」とは？

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

議会は関係機関に意見書を提出して問題を解決するように要望し、議会としての考えを表明することができます。

## 議会を見る Facebook 日記

議会のタイムリーな情報をフェイスブックで発信しています。内容の一部を紹介します。

### 1月24日(火) 「議会運営委員会オンライン行政視察」を行いました。

議会運営委員会が、茨城県取手市議会へオンラインでの行政視察を行いました。

視察内容はオンライン会議システムを活用した議会運営についてです。

本会議や、委員会へオンラインでの出席、オンライン委員会開催への規則改正、タブレット表決システムなどの説明を受け、その後、質疑の時間が設けられ、活発な意見交換の場となりました。

今後の議会運営について改めて深く考える機会となりました。



# 3月定例会 審議結果 (2月28日～3月16日)

条 例 ・ ・ ・ ・ 14件 (原案可決)

予 算 ・ ・ ・ ・ 12件 (原案可決)

補正予算 ・ ・ ・ ・ 10件 (原案可決)

人事案件 ・ ・ ・ ・ 4件 (同意)

専決処分 ・ ・ ・ ・ 1件 (承認)

請 願 ・ ・ ・ ・ 2件 (採択)

- ・ 国道3号バイパストンネルの道路整備等に関する請願
- ・ 地域経済活性化施策の充実・強化に関する請願

発 議 ・ ・ ・ ・ 4件 (原案可決)

- ・ 筑紫野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
- ・ 筑紫野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 国道3号バイパストンネルの道路整備等を求める意見書について
- ・ 地域経済活性化施策の充実・強化を求める意見書について

固定資産評価  
審査委員会委員

中島 千春氏  
米永 隆司氏

人権擁護委員

北橋登志子氏  
森山 秀明氏

人事案件

議案の内容は、市のホームページをご覧ください。



## 令和5年5月臨時会・6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/21	22	23	24	25 臨時会	26	27
28	29	30	31	6/1	2	3
4	5	6	7	8	9 本会議初日	10
11	12	13	14	15 代表質問	16 本会議	17
18	19	20 常任委員会	21 常任委員会	22 常任委員会	23 常任委員会	24
25	26	27 予算審査 常任委員会	28 予算審査 常任委員会	29 予算審査 常任委員会	30 予算審査 常任委員会	7/1
2	3 一般質問	4 一般質問	5	6 本会議最終日	7	8

- ※変更する場合があります。
- ・ 本会議は原則として午前10時に開かれます。
  - ・ 6月定例会の請願・陳情の受付は6月1日(木曜日)正午までです。

市議会関係日程のお知らせ

# 筑紫野市政の ここが知りたい!!

かくはい  
角杯型土器（全長約16cm）  
（詳細はウラ表紙に掲載しています。）

3月定例会の一般質問では、市政について7人の議員が12題目にわたり質問しました。  
質問答弁の内容については議員本人が要約しています。

## 質問題目 一覧

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。

### ■坂口 勝彦 議員

①8050問題について

### ■西村 和子 議員

①市政への市民の意見の反映について

### ■宮崎 吉弘 議員

①行政の効率化による市民サービスの  
向上について

### ■山本 加奈子 議員

- ①水道スマートメーター導入について
- ②高齢者の移動手段について
- ③オンラインでの行政相談について
- ④アピアランスケア推進事業について

### ■前田 倫宏 議員

- ①二日市温泉「御前湯」について
- ②子育て支援について

### ■段下 季一郎 議員

- ①子育て支援について
- ②地域包括ケアシステムの充実について

### ■田中 允 議員

①平井市長の選挙公約の実現に向けて

会派 つくし野 → つくし野  
市民会議 → 市民会議

写真下の( )は 公明党 → 公明党筑紫野市議団  
所属会派 (-) → 会派に所属しない議員



## 多機関とのさらなる

## 情報共有と連携を

### 重層的支援体制の整備を図っていく



坂口 勝彦  
(公明党)

議員 8050問題とは、80代の親がひきこもっている50代の子どもの生活を支える構図を指す。現状を放置すれば事態がさらに深刻化した「9060問題」が本格化することが確実視されている。そこで国では、令和3年4月より「重層的支援体制整備事業」が施行された。この事業は任意で市町村が主体となり複雑化した支援のニーズに応じるために「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に行うものとされている。重層的支援体制整備事業の施行に伴う本市の対応は、ひきこもりに関

する相談件数と課題はケアマネジャー、民生委員等とのさらなる情報共有と連携が必要では。

### 健康福祉部長 令和4

年から引きこもり対策関連事業の一環として「就労準備支援事業」を開始し、現在9件の相談を受けているが、「ひきこもり」の問題は潜在化しやすく、支援に結びつかないといった課題がある。そのため、関係各課の参加による「ひきこもり対策連絡会」を定期的に開催し、情報共有と連携を図っている。今後は、貧困、子育て、高齢者、障がい者等、地域の方々が抱える課題に対応するため、現在の連絡体制における支援対象を拡大しつつ、多機関との協働により重層的支援体制の整備を図っていく。

議員 地域公共交通の充実に向けて、市民の意見をどのような手法で伺う予定か。

### 企画政策部長 法律の

改正に伴い、地域にとつて望ましい旅客運送サービスの姿を明らかにする地域公共交通計画を策定する必要がある。本市においても、新年度から計画策定作業に着手できるように準備を進めている。計画を策定するにあたっては、利用者数や収支等のデータ分析に加え、地域における移動ニーズを把握することが求められており、市民懇談会やアンケート調査を通して、市民の皆さんのご意見を伺いたいと考えている。



西村 和子  
(市議会)

## 市政への市民の意見の反映は

### 良いもの、生かせるものは

### 市政に反映していく



議員 市長が市政に関する市民の意見を伺う機会はどのように考えられているか。

### 市長 市民の意見を幅

広く聞き、良いもの、生かせるものは市政に反映していくのが私のスタンスである。私だけでなく、職員全員が、常にアンテナを張り、市民の意見に敏感であつてほしいと思つている。

市民の皆さんと対面で語らう機会は、意見を聞く上で大変重要であると同時に、市の施策や私の考えを知っていただく上でも有効であると考えているので、その取組を行つていきたいと考えている。

## 行政の効率化による 市民サービスのメリットは 市民の利便性向上を図っていく



宮崎 吉弘  
(公明党)

議員 マイナンバーカードの取得活用により手続きの簡素化が進むことを期待するが、今後の見通しとそれに対する本市の考えは。

### 企画政策部長 運転免

許証との一体化も予定されるなど、マイナンバーカードを活用する機会はますます拡大するものと見込まれ、幅広い分野で有効に活用することができるよう引き続き検討していきたいと考えている。

### 議員 デジタル庁が主

張する行政窓口での住民の「書かない窓口」を導入する自治体があるが、本市の考えは。

### 企画政策部長 「書か

ない窓口」については、令和5年夏頃を目途に、デジタル庁が書かない窓口を実現するアプリケーション「窓口DX SaaS」をリリースすることを計画しており、まずは国の動向を的確に見定めた上で、本市にとって最適な手法を検討していきたいと考えている。

### 議員 自治体のDXに

ついて本市の考えは。

### 企画政策部長 国の各

省庁では、アナログ規制の点検が進められており、今後2年以内をめどに見直しが行われることとされている。このような国の取り組みを踏まえながら、本市においても、可能なものから順次検討に着手し、市民の利便性の更なる向上を図ってきたいと考えている。



山本 加奈子  
(公明党)

### 水道スマートメーター

**議員** 使用量が「見える化」でき節水や高齢者見守り支援も可能な水道スマートメーターの導入を。

### 環境経済部長

誤検針の防止や検針作業の軽減等、お客様サービスの向上に繋がり様々な効果が期待されることから複数の事業者が導入を検討している。導入経費が高額など問題があるが、今後導入経費の低減など問題解決も期待される。近隣自治体の動向を含め情報収集を行っていく。

### 高齢者の移動手段

**議員** 交通空白・不便地域の方等から病院や市役所等行くのも大変でタクシーも少なく困るとの声が後を絶たな

### がん患者等への「アピアランスケア推進事業」実施を 購入費助成を検討



い。地域公共交通網の抜本的な見直しが必要ではないか。また運転免許証を返納した方だけでなく、70歳以上の方等を対象に毎年継続的に支援が必要ではないか。

### 企画政策部長

法改正に伴い、地域公共交通計画の策定が求められている。この計画は地域の移動ニーズ等を踏まえながら地域の多様な輸送資源を最大限活用すると共に必要に応じてMaas等の技術の活用も検討する等地域公共交通のマスタープランと位置付けられる。新年度から計画策定作業に着手する準備を進めていきたいと考えている。移動手段助成は、高齢者運転免許返納等支援事業の開始から間がないので周知と定着に努め、他市の事例を含め幅広く調査研究を継続する。

**議員** 移動ニーズ把握の懇談会に参加出来ない声なき声はどのように吸い上げるのか。

### 企画政策部長

健康福祉部会の皆さんに懇談会の参加を依頼する等地域コミュニティと連携しニーズの把握に努めていきたいと考えている。

### オンライン行政相談

**議員** 各コミュニティセンターと市役所、障がい者や妊娠出産後の方等、ご自宅と市役所を繋ぎ相談体制整備が出来ないか。

### 企画政策部長

窓口混雑時の対応や相談支援を行う人員配置など課題がある。調査研究を重ね最適な手法を検討していきたいと考えている。



前田 倫宏  
(-)

**議員** 現状、本市の整備量では保育を必要とする受け入れ人数が不



**健康福祉部長** 子どもを安心して産み育てることができるよう、さらなる施策の拡大に努めていく。

**議員** 各自自治体では、第二子以降の保育料や給食費の無償化、18歳までの子ども医療費の無償化、おむつやミルクの支給など、経済的負担軽減となる子育て支援を行っているが、本市にはこのような支援はない。市民の方々からも同様の支援を望む声が多数寄せられている。子育て世代の経済的負担軽減となる支援策が必要だと考えるが、見解と取り組みは

足していると考えられる。年度末までの待機児童数を正確に把握し、それに応じた保育の受け皿となる整備量が必要である。待機児童の完全解消に向けた、保育所整備計画の策定と新たな受け皿整備を検討すべきと考えるが、見解は。

### 健康福祉部長

受け皿の拡大を含め、入所状況や社会情勢の変化等を踏まえ、整備計画を検討していく。



**議員** 待機児童を解消するには、保育の受け皿確保と保育の担い手となる保育士の確保を進める必要がある。更なる保育士の確保や処遇改善の取組が必要と考えるが、見解は。

**健康福祉部長** 保育士の雇用につながるような施策を必要に応じて検討し、国が実施する処遇改善の取組を確実に実施していく。



### 二日市温泉「御前湯」の利用促進を

**議員** 本市の事業で「御前湯高齢者入場料一部負担事業」がある。この利用者は、予め市役所窓口で「御前湯利用証」の発行手続きを行う必要があるが、手続きの簡略化による利用促進を検討すべきと考える。国が進めるマイナンバーカードや運転免許証などの提示による利用も可能とすべきと考えるが、見解は。

**健康福祉部長** 引き続き、関係機関等と協議を行っていく。

### 子育て世代の経済的負担軽減 となる支援策を！

さらなる施策の拡大に努めていく







段下 季一郎  
(市民会議)

**議員** 子育て支援で全国的に有名な兵庫県明石市では、「5つの無料化」を実行している。おむつ定期便を実行するべきでは。

**健康福祉部長** 市で同様の事業を月額1500円相当の現物給付で行った場合、おむつ代を含めた委託料のみで年額約2700万円の費用を要する。既存事業の拡充や利用しやすいサービス内容の検討、関係機関や地域ボランティア等との協働に努め、乳児期の親子の支援体制の強化を図っていく。

**議員** 18歳まで子ども医療費を完全無償化するべきでは。

**健康福祉部長** 18歳までを完全無償化した場合、年間約1億5千万円の予算が生じると推計しており、慎重に検

**子どもの学習支援事業を  
実施すべきでは**  
現状にあった支援が行えるよう関係各課と連携しながら検討していく



討が必要。制度拡充は、近隣市の動向を注視するとともに、国・県に対して自治体間での格差のない新たな医療費助成制度の創設を引き続き要望していく。

**議員** 子どもの貧困対策に関する大綱で、生活困窮者自立支援法に基づき、学習支援等を行うとある。実施すべきでは。

**健康福祉部長** 先進地の調査を行うとともに、本市における学習支援の現状にあった支援が行えるよう、関係各課と連携しながら検討していく。

**地域包括ケアシステムの充実について**

**議員** 地域包括ケアシステムの推進を担う役割として、生活支援コーディネーターは、高

齢者の生活支援・介護予防の体制整備推進を目的とし、生活支援及び介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たすものです。

現状、市は社協に委託する形で生活支援コーディネーターを1人配置しているが、人が足りない状況。筑紫南コミュニティは、たすけ愛・みなみという高齢者の日常生活支援を行っているが、市全域に拡大させるために生活支援コーディネーターを増員すべきでは。

**健康福祉部長** 今後、地域での支え合いを推進するために、担い手育成と、高齢者の生活支援についてニーズの把握を行う予定にしております、その結果を踏まえて、生活支援コーディネーターの配置数について検討していく。

**議員** 市長が重要だと考える、三大課題はなにか。また、実現に向けた取り組みは。

**市長** 少子化、次世代育成のための子ども・教育・人材育成の取組、私たちの暮らしを支え、豊かな心を育む自然環境を次の世代に引き継ぐための環境施策、そして、体力の向上や健康増進、仲間づくり、生きがいづくりなど様々な役割を担うスポーツ・レクリエーションの振興という3つの施策である。これに留まらず、商工業、観光、農林業の振興、地域包括ケアシステム・福祉施策の充実、文化・芸術の振興、安全・安心



田中 允  
(-)

なまちづくりなど多岐にわたる施策を推進する必要があると認識している。スピード感をもち、これらの施策を推進するため、市長就任後、関係職員へのヒアリングや資料の精査等を開始し、現状把握と課題分析を進めている。この分析結果を踏まえ、進むべきロードマップを検討し、可能なものは、新年度から事業の推進、改善に着手し、予算を伴うものは、6月定例会に本予算案として提案させて頂きたいと考えている。

令和5年度は総合計画を策定する年となるため、長期的な展開が必要な施策は、次期総合計画に位置付け、議員の皆様のご意見も賜りながら実現に向けた方策を検討していきたいと考えているので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

**公約の中で重要だと考える、  
三大課題はなにか**

子ども教育・人材育成の取組、環境施策、スポーツ・レクリエーションの振興である



## 会議録の検索はこちらから

(3月定例会の一般質問は、6月上旬以降に検索できます)





## 森林ボランティアに参加しました。

3月5日（日曜日）平等寺の野鳥の森で、「ちくしの森林ボランティアの会」によるボランティア活動が行われ、クヌギの木約600本を植樹しました。

筑紫野市では、水を育む森林の大切さを幅広く知ってもらうことを目的として、平成14年度から、ちくしの森林ボランティアの会を発足し、市有林の下草刈り、伐採、枝打ちなどの手入れを行う活動をしています。

当日は素晴らしい天気、春を感じる暖かな植樹日和となり皆さんと楽しく活動ができました。



### かくはい 角杯型土器…8ページ解説

角杯とは、西アジアや北アジアの遊牧民が使用した獣角で作られていた飲用の杯に起源を持っているもので、それを模して陶器や青銅器・銀器などで作られるようになりました。

日本における角杯の出土例は、九州北部から山陰・山陽・近畿・東海・北陸にかけてみられますが、とても希少なものであり、朝鮮半島の影響を受けた文化や儀礼が筑紫野にも伝わっていたことを示しています。

写真の角杯は、隈・西小田地区遺跡群（現在の光が丘付近）から出土したもので、須恵器で作られた古墳時代のものです。

### インターネットで本会議の映像を視聴できます。

本会議開催中には生中継で、過去の本会議は録画中継でご覧いただけます。  
会議名、議員名、会派名や用語から目的の本会議映像を検索できます。  
筑紫野市議会ホームページをぜひご活用ください。

クリック!

筑紫野市議会 検索



3月定例会の各常任委員会会議録は6月上旬に筑紫野市議会ホームページにて公開予定です。

### 広報委員会

委員長

鹿島 康生

委員

辻本美恵子・山本加奈子  
段下季一郎・前田 倫宏

### 編集後記

コロナ禍で傍聴も少し制限があることから、少しでも多くの情報をお伝えしたいと、文字数が少し増えてきていました。読みにくいかなと心配していましたが委員会情報が詳しくなってきましたね…と市民の方から感想を頂いてホッとしています。議事録のQRコードをつけるなど、さらに情報量を増やせるよう工夫しようと思っています。次号は新メンバーで！ お楽しみに。  
(辻本)